

# 令和5年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

## 1 事業の成果

令和5年度に力を入れて取り組んだ事業は次の通りでした。

- (1) オンライン、オフライン、ハイブリッド形式のイベント実施
- (2) 愛鳥祭の現地開催
- (3) 里親会を水曜日を除くほぼ毎日開催
- (4) 多数のレスキュー案件への対応

### 【成果】

- (1) 昨年に引き続き、オンラインでのイベントに力を入れたのと同時に、オフラインのイベントも多数開催しました。  
愛鳥塾、バードライフアドバイザー認定講座はオンラインと現地で開催したほか、施設の一般開放をはじめ、TSUBASAフォーラムやセミナー、慰霊祭や愛鳥祭等を現地開催しました。特にフォーラムやセミナー、慰霊祭や愛鳥祭に関してはオンラインでのライブ配信を同時に行うハイブリッド形式での開催となりました。  
初めての試みで課題や改善点はあったものの、対面だけでなく遠方の方もご参加いただくことができました。
- (2) コロナ禍に入りオンラインで開催していた愛鳥祭ですが、4年ぶりに現地開催を行いました。クリエイターや企業による展示販売のほか、TSUBASAシンポジウムや無料セミナーを実施。無料セミナーに関しては、オンラインでのライブ配信も行い、ご遠方の方でも参加していただきました。  
また初めての取り組みとして、社会貢献活動をされている団体を招待し社会貢献ブースとして出展していただきました。スタンプラリーによってブースを全部回ることで、様々な活動を知る機会として提供することができました。  
1日のみの開催でしたが、最終的に1600名もの来場者にお越しいただきました。
- (3) 里親会：MTBは通常定期的（月に1～2回）開催していましたが、ほぼ毎日（水曜日を除く）開催に変更しました。  
月に数回ペースの開催だと中々都合が付かないというお声もあったことから、運用を変更しました。  
1日の参加人数を制限することで、平日も対応することが可能となり、より里親会へ参加できる機会を増やすことができました。
- (4) 昨年は6件、計70羽とレスキューがありました。  
内訳は以下の通りです。
  - ・ 飼い主様のご病気により：コバタン1羽
  - ・ 飼い主様の緊急入院により：オカメインコ2羽、コザクラインコ1羽、ボタンインコ2羽、セキセイインコ1羽 カナリア3羽
  - ・ 飼い主様のご逝去により：セキセイインコ2羽
  - ・ 飼い主様のご逝去により：セキセイインコ1羽
  - ・ 苦情による住居退去により：コザクラインコ12羽
  - ・ お世話にかかる費用捻出が難しいため：セキセイインコ43羽 十姉妹2羽一度に入る羽数も多く、膨大な費用が発生した他、検疫等で人員が割かれてしまいましたが、多くのボランティアの方々にご参加いただき、またご支援も多くいただきました。  
今後レスキューした鳥たち専用の里親会を開催するなど、鳥たちのために最善を尽くす所存です。

2 事業の実施に関する事項（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額 (千円)
(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・愛鳥祭</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・パートライフアドバイザー認定講座3級、2級</li> <li>・パートライフアドバイザー2級スキルアップセミナー</li> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> </ul>	通年	埼玉県新座市及び全国（オンライン含む）	12名	全国の愛鳥家・動物保護に関心を持つ方	1,902名	15,338
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会（MTB）開催</li> <li>・レスキュー文鳥里親会</li> <li>・鳥の飼育業務</li> </ul>	通年 (引き取り・飼育業務) ※MTBは別途記載	埼玉県新座市及び全国（引き取り）	14名	全国の愛鳥家	103名	24,714
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼鳥のペレット読本</li> <li>・鳥種別リーフレット</li> </ul>	通年	埼玉県新座市	11名	全国の愛鳥家・獣医師他	3,740名	261
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査・研究・開発事業	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	12名	全国の愛鳥家	—	—
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> <li>・幼児教室生徒見学会</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	12名	学生他	約270名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれて いる環境の現況視察事業	令和5年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—

(7) ペット用品、 飼料及び装身具 の売買、製造、 及び輸出入業務	鳥の為の物の販売等 ・鳥の餌 ・オモチャなど	随時	埼玉県 新座市	11名	施設・ イベント 来訪者	783 名	3,027
(8) 動物病院施設及び 動物宿泊施設の経 営	令和5年度は活動実績 なし	—	—	—	—	—	—
(9) ペットに係る飼 養・食餌以外の 物品販売業	人の為の物の販売等 ・雑貨など	随時	埼玉県 新座市	11名	施設・ イベント 来訪者	350 名	1,107

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

#### (1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

##### 1：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

- ・大阪：1/29、東京：5/4、愛知：10/14
- ・オンライン開催：2/19、5/28、6/2、7/30、9/3、10/6、10/22

合計10回 受講者224名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

##### 2：バードライフアドバイザー2級認定講座

- ・開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）
- ・オンライン開催：6/10～6/11、11/11～11/12

合計2回開催 受講者64名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

講師：眞田靖幸先生・直子先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、  
石綿美香様（ALETТА代表）、  
木村幸一郎様（ナチュラルリスト/東京都鳥獣保護管理員）、  
高橋桃花様（小鳥の病院BIRDHOUSE スタッフ）、  
青木敦子先生（あきくさ法律事務所 弁護士）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共に伝えました。

##### 3：セミナー等のイベント

開催地：開催日

- ・大阪：1/28、東京：2/5、福岡：2/11、岡山：2/12、名古屋：4/2、神戸：5/7、  
札幌：6/25、仙台：7/2、神戸：7/16、福岡7/17、東京：9/30、横浜：10/8、  
名古屋：10/15、札幌：11/19、大阪：11/23、高知：11/26、福岡：12/3、仙台：12/10、  
埼玉：12/14・12/17、

・オンライン開催：3/21、3/24、4/21、5/27、7/29、8/4、12/1

合計 27回開催

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）、  
涌井（NPO法人TSUBASA職員）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、

内容：日々更新される鳥達の飼い方の最新情報を常に取り入れる事を目的としています。2級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに3年間で20ポイント分参加する必要があります。  
昨年に引き続きオンラインでの開催に力を入れたほか、現地でのイベントも多数開催しました。

イベント名（一部抜粋）

愛鳥塾（東京、福岡、岡山、名古屋、神戸、横浜、札幌、高知等開催）

オンライン愛鳥塾（オンライン開催）

BLA 2級スキルアップセミナー

第20回TSUBASAシンポジウム（愛鳥祭で開催） 等

4：第16回TSUBASAフォーラム&第17回TSUBASAセミナー

開催地：東京農業大学世田谷キャンパス、オンライン開催

開催日：5/14

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、  
望月（NPO法人TSUBASA理事）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、  
佐藤（NPO法人TSUBASA職員）、清水（NPO法人TSUBASA職員）、  
井伊（NPO法人TSUBASA理事）、戸島（NPO法人TSUBASA職員）  
喜連川（NPO法人TSUBASA職員）、新田（NPO法人TSUBASA職員）  
柴（NPO法人TSUBASA副代表理事）

発表者：喜連川（NPO法人TSUBASA職員）

清水（NPO法人TSUBASA職員）

城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）

講師：齊藤慶輔様（猛禽類医学研究所代表）

内容：TSUBASAフォーラムでは若手社員による成果発表を行い、TSUBASAセミナー  
では希少な野生猛禽類の保護活動や課題に関して齊藤慶輔様に講演していただき  
ました。  
会場での開催と同時に、オンラインライブの配信も行うハイブリッドセミナーと  
して大きなイベントとなりました。

5：第7回愛鳥祭

開催地：都立産業貿易センター浜松町館（一部内容はライブ配信あり）

開催日：10/1

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、  
望月（NPO法人TSUBASA理事）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、  
佐藤（NPO法人TSUBASA職員）、清水（NPO法人TSUBASA職員）、  
井伊（NPO法人TSUBASA理事）、戸島（NPO法人TSUBASA職員）  
喜連川（NPO法人TSUBASA職員）、新田（NPO法人TSUBASA職員）  
柴（NPO法人TSUBASA副代表理事）

内容：「常識から良識」というテーマの下、鳥業界の意識改革を目標としたイベント  
で、今年で7回目の開催となりました。  
今年は4年ぶりに現地開催をする運びとなりました。  
外部講師によるTSUBASAシンポジウムや無料セミナーをはじめ、鳥グッズ製  
作のクリエイター様や企業様による出展販売等、内容が濃いイベントを開催  
することができました。無料セミナーはライブ配信を行い、当日会場に来ていな  
い方でも参加していただきました。  
また今年は初めての取り組みとして、社会貢献活動をしている団体を招待し、

社会貢献ブースとしてエリアを設けました。

1日のみの開催でしたが、来場者は1600名以上の来場者にお越しいただき、終始盛り上がりを見せました。

#### 6：施設開放

開催地：TSUBASAとり村

開催日：7/22、7/23、8/11、8/12、8/13、8/14、8/27、11/19、11/24、12/3、12/17

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、佐藤（NPO法人TSUBASA職員）、清水（NPO法人TSUBASA職員）、井伊（NPO法人TSUBASA理事）喜連川（NPO法人TSUBASA職員）、新田（NPO法人TSUBASA職員）

内容：TSUBASAの保護施設「とり村」の一般開放を行いました。

TSUBASAの活動や施設の概要を紹介するミニセミナーを行い、施設内を見学していただきました。

#### 7：その他勉強会等イベントの開催、出展

上記以外でも、以下のイベントを主催あるいは参加しました

- ・京急百貨店「小鳥のアートフェスタ」にて講演
- ・鳥類臨床研究会（2月オンライン開催）動画での出展
- ・ジャパン・バード・フェスティバル2023出展
- ・慰霊祭
- ・ボランティア体験ツアー 等

#### (2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

##### 1：TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

- ・里親が決まった羽数：53羽

内訳：コガネメキシコインコ、ホオミドリアカオウロコインコ、モモイロインコ、文鳥24羽（内22羽はレスキュー文鳥）、オカメインコ7羽、セキセイインコ7羽、キンカチョウ、ワキコガネウロコインコ、アオボウシインコ、十姉妹、ワカケホンセイインコ2羽、キバタン、キエリボウシインコ、カタリナコンゴウインコ、オオハナインコ、オキナインコ、ゴシキセイガイインコ、

- ・鳥の里親会（MTB：Meet the bird）開催

施設で暮らす鳥達の里親会。

今まで月に1~2回の開催だったところ、今年の水曜日を除くほぼ毎日開催へと仕様を変更しました。

1日の参加人数に制限はあるものの、今まで土日の参加が難しかった方にも参加していただき、より多くの方に里親へのチャンスを広げることができました。

また21年にレスキューした103羽の文鳥たちは、里親対象外の子を除く全ての子の里親が決定しました。

里親会参加人数総数：77組

##### 2：外部からの鳥の引き取り：18件、90羽の鳥を引き取りました。

高齢者の飼育困難、死亡によるもの：7件19羽

家庭の都合（引越し、飼育放棄等）：8件63羽

高齢でない飼い主の病気によるもの：1件1羽

鳥の問題行動（鳴き声等）：1件1羽

その他（警察等）：1件3羽

※内 6 件 70 羽はレスキュー案件（飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い等）：コバタン、オカメインコ 2 羽、ボタンインコ 2 羽、十姉妹 2 羽、カナリア 3 羽、コザクラインコ 13 羽、セキセイインコ 47 羽

3：鳥のお世話に関するボランティア

日時：毎日 9:00～16:00（時間はボランティア様選択制）

延べ人数：計 646 人

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1：鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、TSUBSAが作成した鳥の種類別のリーフレットを販売しました。

2：飼鳥のペレット読本

昨年に引き続き、小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただいた書籍の販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売、病院への卸販売も行いました。

令和元年に新たに改訂版を発行しましたが、概ね好評との御意見を頂きました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェックしました。それに加え、発情抑制やトレーニングの成果など含めて鳥達の飼養をする中で得られた学びを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにてフィードバックをしました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供しました。

【令和 5 年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】

TCA東京ECO動物海洋専門学校

日本獣医生命科学大学

ヤマザキ動物看護大学

埼玉動物海洋専門学校

仙台ECO動物海洋専門学校

川口市立前川小学校

川口市立差間小学校

等

(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業

→令和 5 年度は実績なし

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務

鳥のための用品（ケージ、餌、おもちゃ等）が該当します。

鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を実施しました。また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も実施いたしました。

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営

→令和 5 年度は実績なし

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業

鳥を飼う方向けの用品が該当します。

クリエイター作品(雑貨)など

4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

- (1) BS朝日「バトンタッチ：SDGsはじめてます」
- (2) 時事通信ペットコラム（山口新聞、デーリー東北等）
- (3) 朝日新聞 ひと
- (4) K B S 京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」  
等

5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	324 人
賛助会員	:	217 人
法人会員	:	2 団体
名誉会員	:	18 人
寄附者	:	延べ 2,342 人
鳥のスポンサー	:	延べ 442 人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数：計 646 人
プロボラなど	:	4 名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥たちのおもちゃ作り、支援を目的としたイベント等の開催動物愛護イベントでの啓発活動、SNS 等によるPRなど、様々な形でご支援をいただきました。